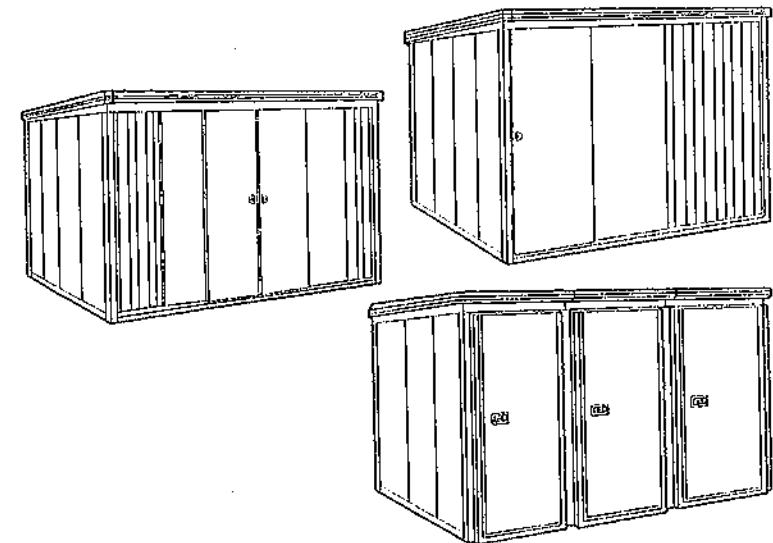


ダイケン物置・DM-K・KR・KB型

取扱説明書



ご使用の皆様へ

- このたびは、ダイケン物置をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- この取扱説明書は、物置の正しいご使用方法及びお手入れ方法などの説明を掲載していますので、ご使用前には必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- また、当説明書はいつでも使用できるように、大切に保管してください。

工事店・施工主様へ

- この取扱説明書をご使用になる方へ必ずお渡しください。

2. 目 次

1. はじめに	1
2. 目 次	2
3. 安全にお使いいただくために	3
安全な使用の為に	4
4. 製品の概要	
各部の名称	5～6
鋸前について	7
各部の強度	8
5. ご使用方法	
通常時の使い方について	9
収納の仕方について	10
6. お手入れ方法	11
7. 修理のご案内	12

3. 安全にお使いいただくために

●物置のご使用前にこの「安全にお使いいただくために」をよく読み、理解してから使用してください。

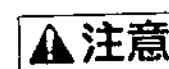
●安全にご使用いただくために特に大切な「お知らせ」には、本取扱説明書では次のようなシンボルマークとシグナル用語で危険のレベル分けをしています。



取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性（切迫の度合い）が高い限定期的な場合（高度な危険を含む）。



取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。



取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

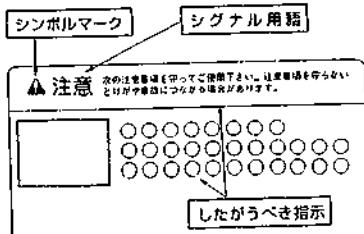


「必ずしてほしい行為」を表します。



「禁止」を表します

本文では以下のように使用します。



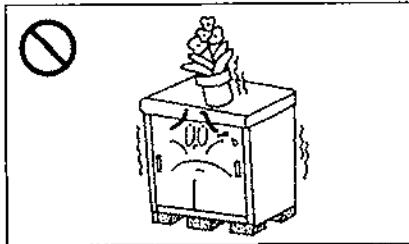
「シグナル用語」に続くしたがうべき指示を十分守らないと、人身事故につながることになります。

安全な使用の為に

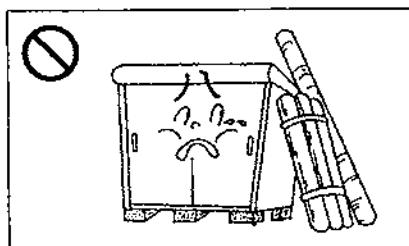
▲ 注意

次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。

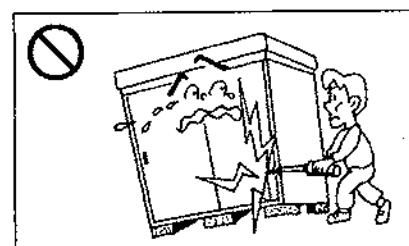
屋根の上に物を載せたり、乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
※転落により、ケガをする場合があります。又、物をのせると落下する事もありケガ、破損の原因になります。



外壁にものを立てかけないでください。
※強風などにより、たおれて危険です。又、腐食の原因になります。



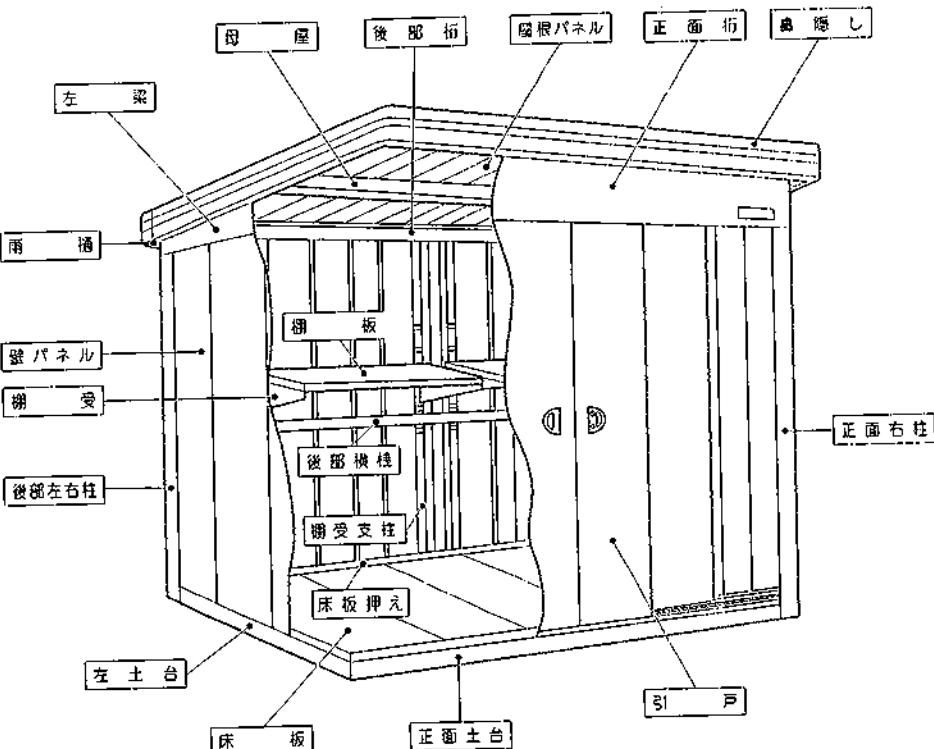
改造しないでください。又、電気配線は専門業者にご相談下さい。
※物置本来の性能を損ない、ケガ、破損の原因になります。



4. 製品の概要

各部の名称

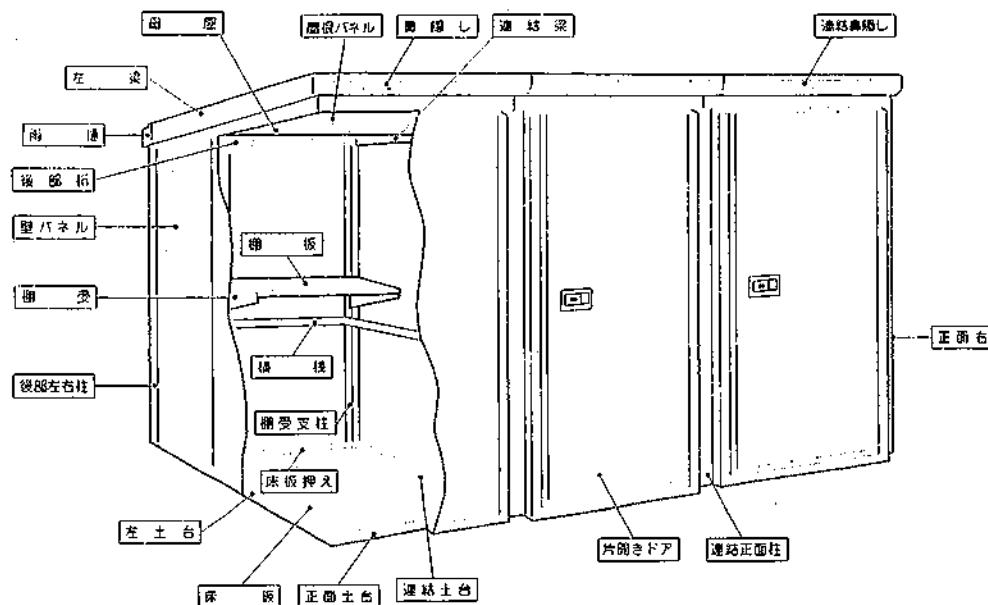
DM-K・KB型



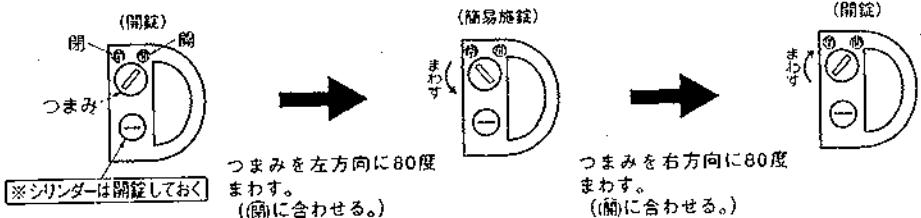
錠前について

この物置の錠前は『簡易的に施錠する』場合と『確実に施錠する』場合の2通りの仕様となっております。使用方法をよくお読みのうえご使用ください。

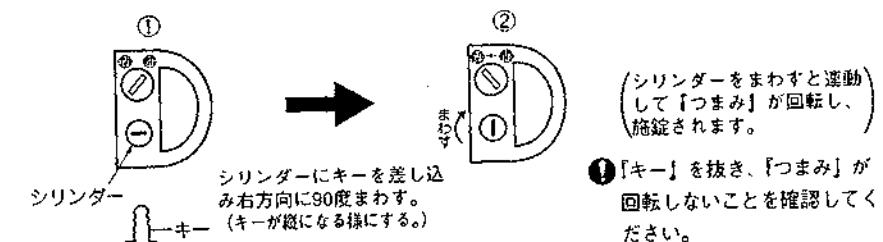
DM-KR型



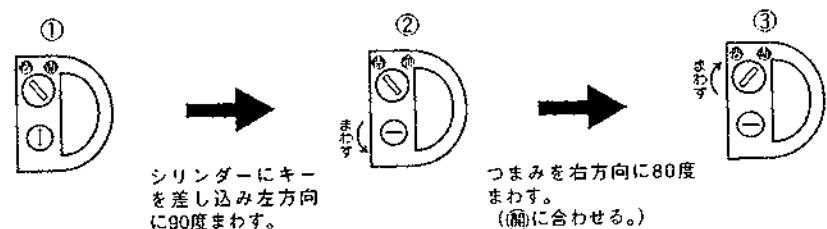
・簡易的に施錠・開錠する場合



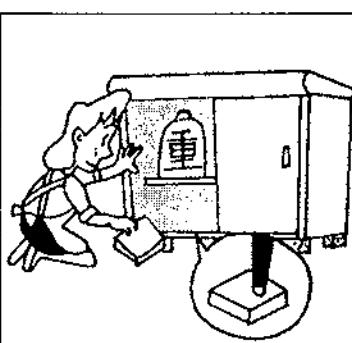
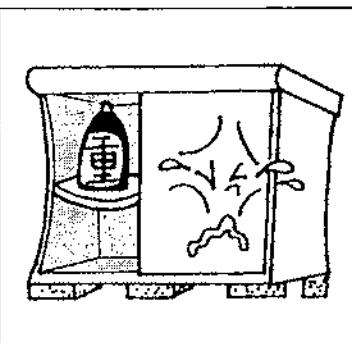
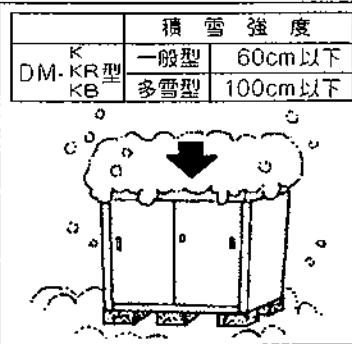
・確実に施錠する場合



・確実の施錠状態から開錠する場合



各部の強度



▲注意

屋根の強度

積雪強度は下記の強度に耐えますが、安全のため雪降しは早めに行ってください。

製品名		積雪強度	雪降しの目安
K DM-KR型	一般型	1126N/m ² (120kgf/m ²)	30cm以下
	多雪型	2940N/m ² (300kgf/m ²)	50cm以下

※許容加重を超えた場合、物置の変形、破損により、ケガ又は収納物の破損などの事故の原因となります。

▲注意

棚の強度

棚板強度は大きさにより、許容荷重が異なります。下記の荷重以上は物をのせないでください。又、物をのせる時は、静かに置いてください。

製品名	棚板(幅×長さ)	1枚の許容加重
K DM-KR KB	棚板 8型 390mm × 800mm	588N(60kgf)以下
	棚板 12型 390mm × 1200mm	882N(90kgf)以下

※棚の変形及び破損による、収納物の落下にてケガや収納物の破損などの事故の原因になります。

▲注意

床の強度

床の強度は、物を均等に置いた状態で4410N/m²(450kg/m²)に耐えます。

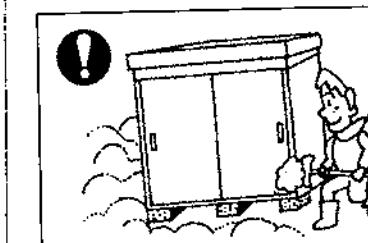
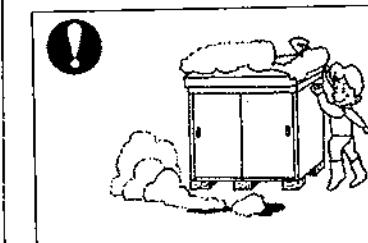
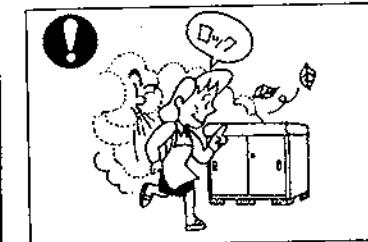
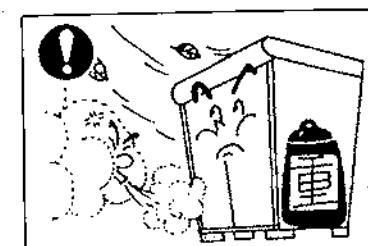
尚、重量のある脚付の収納品は脚の下に15~20cm角の丈夫な板を敷いてください。

5. ご 使用 方法

通常時の使い方について

▲注意

次の注意事項を守って使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。



▲注意

台風や強風時には

- ①床に重い物を置いて、物置が動いたり転倒したりしない様にしてください。
- ②物置の中に風が吹き込まぬ様ドアを開めて必ず鍵をかけてください。

※強風によりドアが開いてはずれると、収納物又は部材の飛散、転倒することがあります。

▲注意

積雪時には

- ①脚立などを使ってケガのない様安全に雪降しを行ってください。
危険ですので屋根に乗らないでください。
- ②物置の周囲の雪は適時、除雪してください。

収納の仕方について

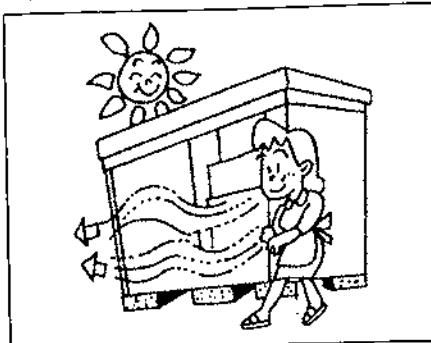
○物置は鉄板製の為、季節の変化や、地域差、又は気候により、庫内は温度、湿度、ほこり、結露などの影響を受ける場合があります。

お願い

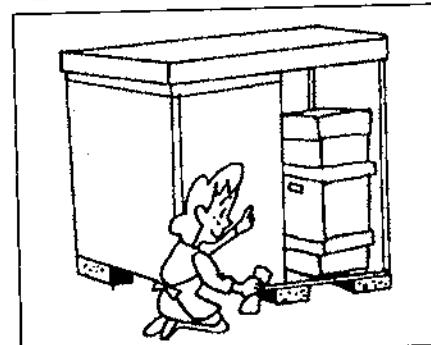
- (1) ドアを開けて庫内の換気をしてください。
季節または地域により、庫内がむれたり、結露する場合があります。
- (2) 衣類など湿気やほこりを嫌う収納品はビニール袋などに入れてください。
- (3) 電気製品は必ずダンボール箱に入れて収納してください。
ほこりや湿気から電気製品を保護してください。
- (4) 危険物は収納しないでください。
- (5) 漬物樽等は塩分により、サビの発生原因になりますので受け皿の上に樽を置いてください。
- (6) 肥料や農薬など化学肥料類もサビの発生原因になりますので、床面に散乱しない様にしてください。

6. お手入れ方法

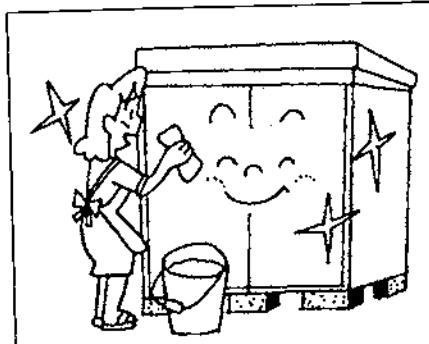
庫内がムレたり、結露した時は扉を開けて、風通しを良くしましょう。



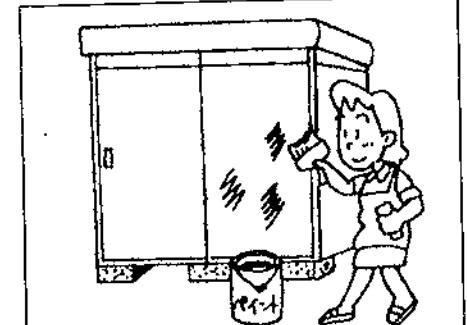
屋根や雨樋及びドアのレールには枯葉やゴミ・ドロ・小石などがたまります。
定期的に掃除して下さい。



汚れたら水洗いやワックス掛けなどをしましょう。



錆が発生したときはサンドペーパーをかけ、水や汚れをふき取って、塗料を塗ってください。



鍵の番号は本説明書の1ページに記載されています。又、鍵を紛失したときは、お買い求め先にお申し出ください。

